

各位

不動産投資信託証券発行者名
東京都港区虎ノ門四丁目3番1号
ユナイテッド・アーバン投資法人
代表者名
執行役員 村上 仁志
(コード番号: 8960)
資産運用会社名
ジャパン・リート・アドバイザーズ株式会社
代表者名
代表取締役社長 吉田 郁夫
問い合わせ先
チーフ・フィナンシャル・オフィサー 夏目 憲一
TEL. 03-5402-3680

平成28年熊本地震の影響について（第4報）

平成28年熊本地震により被害を受けられた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。また、皆様の安全と、被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

2016年4月14日に発生した地震を前震とする平成28年熊本地震（以下「本地震」といいます。）に関し、ユナイテッド・アーバン投資法人（以下「本投資法人」といいます。）が保有するイオンモール宇城（以下「本物件」といいます。）の現況、復旧費用等並びに本投資法人の運用状況の見通しについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本物件の現況について

（1）地震被害に対する補修工事等について

本投資法人が資産の運用を委託する資産運用会社であるジャパン・リート・アドバイザーズ株式会社（以下「本資産運用会社」といいます。）は、本物件の建築時の施工者である株式会社フジタ（以下「本物件施工者」といいます。）に対し、本物件の被害状況等の詳細確認、並びに機器・設備等に係る補修対応等について調査を依頼するとともに、本物件全体の早期営業再開を目指し、本物件のテナントであるイオンモール株式会社並びに本物件施工者等と協働して、補修工事を実施しました。当該補修工事は内装、電気設備等多岐にわたりましたが、2016年6月30日までに完了しています。

なお、本物件施工者の調査報告書によれば、本物件建物の被災程度は軽微であり、今後も使用可能と判断されます。

（2）本物件の営業状況

補修工事の完了をうけ、2016年7月1日より本物件全体において営業が再開されています。

2. 本地震による損害に係る本物件の復旧費用等

本物件の復旧工事は、2016年6月30日までに完了していますが、工事に要した費用については、工事施工業者からの報告を精査中であり、本日現在確定していません。

なお、当該復旧費用のうち、修繕費等の一時的な費用と見込まれる金額については、会計基準（企業会計原則）に従い2016年5月期（第25期）において引当計上する必要があると判断し、その引当額を135百万円（注）と見積り、災害損失引当金として特別損失を計上しました。

（注）上記引当額は、本日時点における復旧費用の見積り額であり、今後、工事施工業者との協議結果等によっては変動する可能性があります。なお、2016年5月25日時点においては、見積り引当額を150百万円としていました。詳細については、2016年5月25日付「2016年5月期（第25期）及び2016年11月期（第26期）の運用状況の予想の修正並びに2017年5月期（第27期）の運用状況の予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 運用状況の見通し

上記2. 記載の本物件の復旧費用については、2016年5月25日付「2016年5月期（第25期）及び2016年11月期（第26期）の運用状況の予想の修正並びに2017年5月期（第27期）の運用状況の予想に関するお知らせ」で公表しました業績予想の前提条件として相当程度織り込み済みであるため、今回の復旧費用の見込み額の見直しによる運用状況への影響は軽微です。

なお、最新の2016年11月期（第26期）及び2017年5月期（第27期）の業績予想並びにその詳細につきましては、本日付で公表の「2016年5月期 決算短信（REIT）」をご参照ください。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス：<http://www.united-reit.co.jp>